

交通事故状況

種別	区分	累計	
		3月	本年
発生件数		61	143
死亡者		0	2
重傷者		4	18
軽傷者		67	148

発行 山口市役所
編集 企画部広報課
印刷 ㈱丸二商行



ぼんぼり広場に入出

温泉街は春満開

湯田温泉まつり

あいにくの雨で順延された湯田温泉まつり「ぼんぼり広場」が、四月五日催されました。この日は、一日中肌寒い天気でしたが、春休みのちびっこや観光客など、多くの人出でにぎわいました。

錦川通り一帯のぼんぼり広場では、みこし、ちびっこなど自慢、もちつき大会、カラオケ大会、夜店などお祭り気分も盛り上がり、白装束を着てくれた「白狐宮参り」でクライマックスを迎え、温泉街は春満開となりました。

推進元年

したまちづくり

5つの柱で

昭和五十六年度 予算 特集

56年度予算のあらまし

「都市機能の充実及び生活基盤の整備」など、五つの重点施策で編成した昭和五十六年度予算がスタートしました。

一般会計は、総額二百三億四千万円（前年当初予算比一三・一割増）、国民健康保険や下水道事業、土地取得事業などの特別会計が八十億七千九百九十四万円（同六・五割）、企業会計のうち自動車運送事業会計が、約八億二千八百万円、水道事業会計が簡易水道も含めて、約十一億七百万円となっています。

市ではここ数年、経費の節減等財政健全化に向かって鋭意努力していますが、依然

として財政は硬直化した状態にあります。昭和五十六年度も引き続き財政の硬直化についてその解決の方途を講じ長期的な見通しに立った行政の見直しに努めます。

こうした中で五十六年度は、二十一世紀を展望したまちづくり「緑ゆたかな伸びゆく人間都市やまぐち」を基本理念とした、基本構想推進元年の年にあたり、市民福祉の向上、生活関連資本の整備など市民生活に必要な事業を推進するため、限られた財源の中で重点的かつ効果的に予算を編成しました。以下、新年度予算の内容について、そのあらましを紹介します。

一般会計 2百3億4百万円

前年比13割の伸び

自主財源の構成比下がる

一般会計予算の歳入のうち、市税は七十六億八千四百余万円（構成比三七・九割）で、歳入

は、国庫支出金三億八千七百余万円（同一九・一割）、市債二

千二百余万円の増額となつて

十七億四百余万円（同一三・三割）、地方交付税二十三億三千

百万円（同一一・五割）など

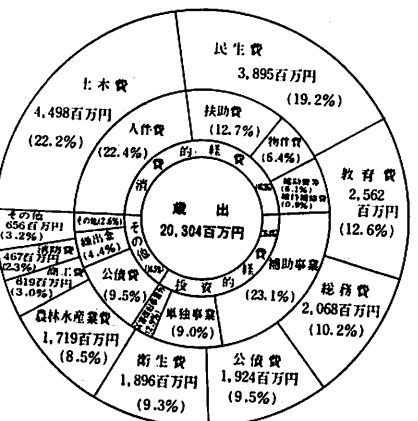
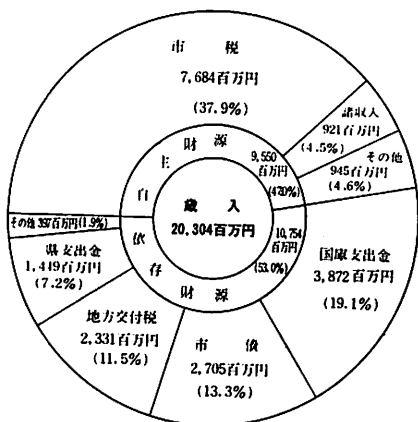
これ等の構成比を前年と比べると、市債が一・〇割、地方交付税と市税が各々〇・二割下が

つたのに対し、国庫支出金は

一・五割上がり、前年より七億

一千二百余万円の増額となつて

(一般会計)



歳出では、土木費が四十四億九千八百余万円（構成比二二・二割）、民生費が三十八億九千五百余万円（同一九・二割）、教育費が二十五億六千六百余万円（同一二・六割）、総務費が二十億六千八百余万円（同一〇・二割）などが主なものです。

また、公債費は十九億二千三百余万円、構成比は九・五割を占め、前年より〇・六割ふえ

昭和56年度一般会計予算 (単位 千円：%)

＜歳入＞			＜歳出＞		
項目	予算額	前年比	項目	予算額	前年比
市税	7,684,232	112.5	議会費	188,461	111.4
地方譲与税	170,000	126.9	会務費	2,068,010	95.2
娯楽施設利用	23,000	100.0	衛生費	3,895,236	114.3
交際費	170,000	106.3	労働費	1,896,133	119.7
自動車取得等	13,902	135.4	賃借料	57,287	97.9
国有地交付金	2,331,000	111.5	林業費	1,719,239	96.3
市町村交付金	20,000	100.0	水産業費	618,531	120.9
地方交付金	312,011	113.5	土木費	4,498,326	141.1
特別交付金	282,479	158.6	国防費	466,786	105.5
分担金及び手数料	3,872,355	122.5	教育費	2,561,672	93.8
国庫支金	1,449,433	110.3	災害復旧費	321,930	150.5
市庫支金	164,806	136.4	公債費	1,923,867	120.7
支店収入	4,533	178.7	諸支出費	38,522	102.7
付入越収	180,621	79.2	予備費	50,000	100.0
	1	100.0			
	920,927	111.9			
	2,704,700	104.9			
合計	20,304,000	113.1	合計	20,304,000	113.1

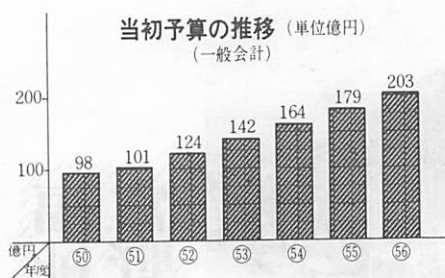
歳出を目的別にみると、人件費など消費的経費が四八・五割、建設事業などの投資的経費が三五・〇割、公債費などのその他が一六・五割です。

特に建設事業費は、前年比二四・三割伸びています。

特別会計は八十億円

特別会計のうち、下水道事業に三十四億七千余万円（前年比〇・六割減）のほか、国民健康保険に三十九億九千七百余万円（同一一・一割増）を計上し、特別会計全体で八十億七千九百

余万円を計上しました。



基本構想

21世紀を展望

予算編成は

都市機能及び生活基盤の整備

市道・南部地域センター、住宅、衛生施設の整備

県都々にふさわしい住みよい魅力ある都市づくりを進めるため南部地域センター、工業、商工団地の建設用地の確保に努めます。

生活基盤の整備では、公共下水道と都市下水路、生活道や都市公園の整備のほか、緑化対策の推進に努めます。

南部地域センター

南部地域に文化・行政の拠点となる地域センターの建設用地を名田島の山口市消防署南出張

所付近に取得するほか、働く場を確保するため南部に三十餘余りの工業用地を先行取得する調査、測量を行います。

生活道路の整備

都市計画街路事業は、引き続き東山通り下矢原線、糸米羽坂線、黄金町野田線の事業を進めるほか、生活道路の整備では、十七億余万円の事業費で改良、舗装を進めます。

この中には、新規事業として平川の姫山橋、宮野の青木橋の

新設、改良もあります。

また、交通安全対策では嘉川の岡村第一踏切、下河内第二踏切の拡幅事業などを行います。

不燃物処理場の取得

じん芥収集車を購入するほか、大内管内地区に相当長期にわたり利用できる、不燃物の処理施設整備事業費として二億六千二百余万円を計上しました。また、山口県中部環境施設組



県の博物館や美術館が並ぶ亀山周辺を公園化する整備事業が進んでいます。昭和58年度の完成が待たれます

教育文化の向上

平川小、鴻南中校舎増築 白石小に屋内運動場建設

生涯教育を推進し、創造性豊かな人間形成と社会の発展に貢献する人材の育成に努めます。計画的に義務教育施設の整備を行い、調和のとれた教育行政を進めるとともに、地域コミュニティ活動の推進、社会教育の振興、文化財の保護に努めます。

を新築するほか、白石小学校に屋内運動場を建設します。また、放送教育設備の整備費として五百万円を計上しています。

社会教育施設の整備

大内公民館を建設するほか、山口隣保館に剣道場を増築します。また、文化財保存整備事業費として六千四百万円計上しました。

集会所建設に補助金

平川小学校(三教室、図工室、家庭科室、音楽室)、大内小学校(給食室)、鴻南中学校(八教室、管理室、特別教室)

◇教育文化の向上◇

(単位 百万円)

○ 義務教育施設整備	656
○ 公民館建設	117
○ 文化財保存整備	64
○ 私学振興	9
○ 山口隣保館増築	39
○ 自治会集会所建設補助	26

合負担金として、新しく火葬場の維持管理費を加え、し尿処理場の建設費および維持管理費を含め五億九千余万円を計上しています。

東山住宅の建て替え

公営住宅の建て替え計画に基

づき、東山住宅を今年度と来年度の二か年で建て替え、三十五戸建設するほか、陶丸尾北に二戸建設します。また、公園整備としては、昨年引き続き亀山公園の整備を進めるほか、御堀第二公園の整備を進めます。

◇都市機能・生活基盤の整備◇

(単位 百万円)

○ 南部地域センター建設用地	111
○ 都市計画街路事業	630
○ 都市下水路事業	90
○ 不燃物処理施設整備	262
○ 中部環境施設組合負担金	590
○ 生活道路の整備	816
○ 公共下水道の推進(下排水路改良を含む)	3,473
○ 交通安全施設整備	90
○ 都市公園と緑化対策	229
○ 住宅建設	221

地域社会におけるコミュニティ

福祉の充実

福祉タクシィ、老人研修補助 宮野に憩の場、用地を確保



老朽化したために、建て替えられる東山保育園

しました。

老人・児童対策

昨年十月一日から実施し、お年寄りから非常に喜ばれている福祉優待乗車証交付事業は、対象年齢を七十六歳から七十三歳に引き下げるとともに、今年度から新しく、市営バスが通っていない地域のお年寄りのために市営の貸切りバスを利用することを前提とした老人研修補助金制度を設けたほか、老人と市民のふれあいの場として、宮野地区に温泉を取り入れた市民憩の場の建設用地を確保します。

福祉の向上

	(単位 百万円)
○ 福祉優待乗車証	35
○ 東山保育園改築事業	192
○ 市民憩の場建設事業	61
○ 老人福祉関係費	1,120
○ 身障者・精薄者福祉関係医療費、保護委託費	405

また、地域のふれあいの広場を確保するために、子ども遊び場やゲートボール広場を対象として、一か所あたり五十万円を限度に補助金を支給することとしました。
このほか、東山保育園改築事業費として、一億九千二百余万円を計上しました。

ふれあいの心をはぐくみ、福祉都市の一員として、市民が心にゆとりをもった安らぎと生きがいのある福祉社会の実現に努めます。
特に今年には国際障害者年にあたり、障害者福祉都市として、障害者の住みよい温かいまちづくりを進めるとともに、老人には生きがいと希望のもてる高齢化社会に対応した施設の整備を進めます。

障害者福祉都市

障害者の生活環境の改善やタクシィを利用した場合に、料金の一部を助成する「福祉タクシィ」の実施、心身障害児の早期療育の推進及び市民啓発事業を積極的に進めるために、四千万円の予算も計上しました。

産業の振興

転作の定着化、漁港整備 観光客の歓迎塔を設置

水田利用再編対策により、農業生産の再編と生産体制を整備し、転作の定着化と水田の総合利用を進めます。
また、農業経営の体質改善を図るために、地区再編農業構造改善事業など農業の基盤整備事業を実施し、農業の近代化と安定化をはかります。林業は森林病害虫防除対策事業、水産業は

漁港整備事業を実施します。商工振興観光対策は、商工業の育成および自然と歴史の調和のとれた観光づくりに努めます。

稲作転換作物の促進

大豆刈取機や脱粒機など集団営農用機械の購入を促進し、稲作の転換作物の団地化を推進するほか、新農業構造改善事業と

して名田島の集落センターの建設、地域農業生産総合振興事業として平川のライスセンターの増設などに努めます。
土地改良事業では、前年に続いて仁保のは場整備や北の江溜池の改修工事を進めます。

陶・仁保の林道整備

松の緑を松くい虫から守り、

市教育長に山城右二氏



前教育長宇山保雄氏の死去に伴う後任について、三月三十一日、山城右二氏(57・前大蔵中学校長。現住所は金古曾町八一―一)が発令されました。

人事異動

市では四月一日付(退職者は三月三十一日付)で人事異動を行いました。このたびの異動は、総合開発室と建築指導室の新設に伴うものおよび定期異動です。
四等級(係長級)以上の異動は次のとおりです。

▲一等級▼

- ▽企画部長佐々木真▼経済部長石川潔▼厚生部長小田良次▼総合開発室長小林兼年▼総合開発室次長磯部正路▼教委教育次長西村守

▲三・四等級▼

- ▽企画部企画財政課統計係長中本和昭▼同行政係長原昌克▼同主任野村保雄▼広報課主任伊藤米秋▼総務部職員課主任松原誠治▼納税課主任渡辺光夫▼同主任岩井清陸▼管理課主任安田孝▼山口隣係館主任(兼)三和児童館主任織田倉右▼休日夜間急病診療所長田中良伸▼市民生活部市民課主任寺田静雄▼同主任岡則之▼同登録係長小野一由▼衛生課主任石田貞男▼同主任若本和子▼同主任須崎和枝▼同衛生第一係長宇野和利▼経済部農林水産課林務係長徳光勝▼同主任佐内秀隆▼同主任安永寛
- ▽企画部企画財政課長梅田忠良▼総務部課税課主幹(兼)管理係長小林洋一▼管理課主幹(兼)財産係長宮川健▼市民生活部市民課長(兼)住居表示対策事務局次長松永泰玄▼建設部調整管理担当主査(兼)幹線道路対策事務局次長開地利満▼建築課主幹(兼)建築指導室長徳田勉▼土木課主幹中川勲▼(兼)都市計画課土地対策係長重富和夫▼厚生部福祉課主幹正木繁▼総合開発室主幹津本実▼同主幹蔵成秋次▼出納

(5)

豊かな郷土を後世に残すために松くい虫の空中防除を引き続いて実施するほか、陶・仁保地区の林道の整備を進めます。水産事業としては、山口漁港の改修と相原漁港の海岸整備を行います。

自転車置場の整備

中小企業の季節融資預託金を今年も五千万円増額して、四億五千万円にしました。

また、観光施設整備事業として、木戸公園を訪れる観光客のために駐車場をつくるほか、山口を訪れる観光客を暖かく迎える歓迎塔を設置します。

このほか、自転車公害を解消するために、湯田温泉駅前に自転車置場を整備するために三百



地域社会のスポーツの振興に大いに役立つ、夜間照明施設

万円を計上しました。



雑然と放置されている自転車。きちんと整理される日が近づきます

保健体育の振興

河川プール、夜間照明施設 保健相談事業

生活の中にスポーツやレクリエーションを取り入れ、健康と体力の増進をはかるとともに、新しい時代にふさわしい明るい豊かな生活をめざして、スポーツの生活化を推進します。このため、プールや夜間照明施設をつくるなどして、地域社会のスポーツの振興に努めます。

また、私学振興対策では、大学、高等学校、幼稚園の運営費等の補助金を計上しています。

仁保に河川プール

仁保一貫野地区に、河川改修に合わせて河川プールをつくるほか、白石と仁保地区に屋外運動場夜間照明施設整備費として二千八百万円を計上しております。

産業の振興

(単位 百万円)

○ 転作促進特別対策事業	58
○ 農業構造改善事業	30
○ 地域農業・生産総合振興事業	122
○ 山村振興事業	38
○ 土地改良事業	217
○ ミニ総合パイロット事業	61
○ 新構造改善事業	332
○ 農道整備・かんがい排水事業	286
○ 松くい虫防除対策	16
○ 林道開設事業	57
○ 漁港改修事業	119
○ 中小企業金融対策	450
○ 労働者福祉対策	4
○ 観光施設整備事業	11
○ 湯田温泉駅前自転車置場	3

保健体育の振興

(単位 百万円)

○ 夜間照明施設	28
○ 地域救急医療対策	59
○ 自動解析装置付心電計設置	5

地域救急医療

休日夜間急病診療所の充実をはかるため、自動解析装置付心電計を設置します。また、健康づくりの思想を普及させるため、保健相談事業などを推進します。

予算総額 303億2,038万円

(単位 千円：%)

会計名	予算額	伸び率
一般会計	20,304,000	113.1
特別会計	8,079,940	106.5
自動車運送会計(収益的収入)	828,610	85.0
水道会計(収益的収入)	1,107,830 (含簡水)	125.1

- ▽耕地課技術係長小田英二
- ▽同主査藤井洋二
- ▽同管理係長富田信行
- ▽同主任木村公昭
- ▽商工観光課主任井上佐和
- ▽同商工労働係長山本和久
- ▽建設部建築課主任中川正信
- ▽同主任河村和雄
- ▽同主任原典且
- ▽都市計画課公園緑地係長竹本功
- ▽同都市計画係長山本賢
- ▽同主任紺野武
- ▽土木課失業対策係長松富成夫
- ▽土木係長重富敏郎
- ▽同主任光永文雄
- ▽下水道部管理係長吉村達夫
- ▽同業務係長池田淳
- ▽同計画係長手嶋甫充
- ▽同工務係長東克明
- ▽同施設係長岩脇立剛
- ▽同主任重村勝彦
- ▽保護課主任(査察指導員)原進
- ▽同主任久保宏
- ▽保険年金課主任阿武一之
- ▽同主任小野村治
- ▽同主任関勝治
- ▽同主任野村耕士
- ▽同主任国吉英次
- ▽養護老人ホーム福寿園生活指導員藤井芳男
- ▽大内出張所主任水崎宏一
- ▽宮野出張所主任森近俊水
- ▽同主任奈良定忠
- ▽吉敷出張所主任松村忠義
- ▽平川出張所主任藤井貢
- ▽嘉川出張所主任中村常芳
- ▽総合開発室開発係長福田武司
- ▽同計画係長小泉芳
- ▽教委社会教育課主任查関光寿
- ▽同文化財係長藤村梓一
- ▽総務課施設係長亦野忠
- ▽体育課指導係長金子良満
- ▽同主査梶原稔
- ▽同庶務係長安永一孝
- ▽指導室主査(兼)社会教育課主任查山本雄輔
- ▽市民会館管理係長(兼)企画係長末広達彦
- ▽二島公民館主事福田二郎
- ▽(昇任)宮野公民館主事徳田時男
- ▽(昇任)中央公民館主事山下隆章
- ▽(昇任)同主事藤井貞

- 夫
 - ▽二島幼稚園主任伊藤慶子
 - ▽大内幼稚園主任白金直枝
 - ▽選挙管理委員会事務局選挙係長辻敏夫
 - ▽同庶務係長平川健治
 - ▽農業委員会事務局農地係長重村英太郎
 - ▽市議会議事局調査係長片山裕之
 - ▽中部環境施設組合施設係長国吉武志
- △退職者▽
- ▽末村勇二
 - ▽藤永章
 - ▽友光正雄
 - ▽吉田隼太郎
 - ▽倉重弘治
 - ▽伊藤保
 - ▽渡辺龍江
 - ▽安齊まつえ
 - ▽舛屋暢子
 - ▽村木スエ子
 - ▽藤津美智子
 - ▽大向伊三郎
 - ▽伊藤フサエ
 - ▽柴崎義竹
 - ▽竹林夏子
 - ▽青木ツチャ子
 - ▽金子光善
 - ▽中田光代
 - ▽河村正
 - ▽甲斐福義
- 消防本部
- △二等級▽
 - ▽(解)消防署長(派遣)日本消防協会山本歳幸
 - ▽(兼)消防署長能野安稔
 - ▽(兼)消防課機械係長能野安稔
- △三・四等級▽
- ▽(兼)消防署副署長清水孝一
 - ▽(派遣)山口県消防学校柿並信義
 - ▽消防課主任徳田定夫
 - ▽(昇任)消防署岩本重樹
 - ▽(昇任)消防課伊藤満昭
- △退職▽
- ▽原田勝
 - ▽高木茂

昭和54年度決算要領

一般会計
歳出決算

163億2,473万8千円

地方自治法の定めにより、昭和五十四年度の決算要領を、次のとおり公表します。

昭和五十六年四月十五日
山口市長 堀 泰夫

一般会計歳入歳出決算

(単位 千円)

科 目	決算額	科 目	決算額
市 税	6,027,902	費 用	157,460
地 方 議 与 税	187,454	費 費 費	2,210,352
娯 楽 施 設 利 用 税	22,133	費 費 費	3,026,583
自 動 車 取 得 税	178,120	費 費 費	1,258,632
国 有 地 権 利 等 所 在 金	9,585	費 費 費	52,108
市 町 村 交 付 税	2,031,198	林 水 産 業	1,209,077
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	22,324	工 木 防 育	485,334
分 担 金 及 び 負 担 金	187,345	費 費 費	3,191,904
使 用 料 及 び 手 数 料	177,119	費 費 費	427,869
国 庫 支 出 金	2,882,467	費 費 費	2,788,343
県 財 支 出 金	980,772	費 費 費	163,664
寄 附 金 入 金	117,683	費 費 費	1,302,565
繰 上 金 入 金	19,166	費 費 費	50,847
繰 下 金 入 金	27,156	合 計	16,324,738
繰 越 収 入 金	72,008		
繰 越 収 入 金	686,226		
合 計	2,782,785		
	16,411,443		

一 般 会 計

8千6百余万円の黒字

昭和五十四年度の一般会計当
初予算は、百六十四億三千六百
万円でしたが、その後七回の補
正により最終予算は百七十九億
四千七百四十五万九千円となり

これに対し決算額は左表のと
おりで、歳入・歳出差引き八千
六百七十五万五千円の黒字とな
りました。

歳入決算額は、前年度と比べ
ると一四・六割の伸びでした。
これは、地方譲与税が四五・

市 價 現 在 高

(単位 千円)

区 分	53年度末	54年度末
普 通 債	7,556,426	9,723,405
災 害 復 旧 債	431,274	423,963
そ の 他	1,551,248	1,576,438
計	9,538,948	11,723,806

市 價

市債の発行額は、二十七億八
千二百七十八万五千円、歳入に
占める割合は一七割で、現
在は百十七億二千三百八十

歳出決算額は、前年度と比べ
一五・九割の伸びでした。
歳出決算額を性質別に分ける
と、人件費が四十三億九千八百
六十六万九千円(構成比二六・
九割)、建設事業費が五十三億二
千八百九十一万六千円(同三
二・六割)、扶助費が二十一億八
千三百四十五万九千円(同二
三・四割)が主なものです。

主な事業としては、歴史民俗
資料館の建設、大蔵、宮野、陶
の各小学校の増設、一貫野、
名田島の新構造改善事業、鑄鏡
司、嘉川公民館の建設、市民プ
ールの開設などがあります。

特 別 会 計

(単位 千円)

会 計 別	決 算 額		歳 入 歳 出 差 引 残 額
	歳 入	歳 出	
国 民 健 康 保 険	3,269,081	3,061,034	208,047
同 和 対 策 資 金 貸 付	304,023	300,686	3,337
と 畜 場	16,319	16,319	0
下 水 道 事 業	2,514,543	2,511,443	3,100
土 地 取 得 事 業	367,000	367,000	0
駐 車 場 事 業	126,334	126,334	0
特 別 林 野	50,732	41,163	9,569
合 計	6,648,032	6,423,979	224,053

特別会計歳入歳出決算概要

特別会計の歳
入歳出決算は次
のとおりで、歳
入総額は六十六
億四千八百余万
円に対し、歳出
総額は六十四億
二千三百余万円
で、差引き二億
二千四百余万円
の黒字となりま
した。

市 有 財 産

市有財産の現在高は、右表の
とおりで、山林、立木の推定蓄
積および基金の土地以外は、
いずれも増加しました。
特に出資による権利は七百三
十八万九千円、債
権は二億二千四
百余万円増加し
ました。

国民健康保険は、歳入歳出差
引き二億八百余万円を昭和五十
三年度へ繰越し、下水道事業
は、歳出で前年度に比べて二三
割伸び二十五億一千余万円の
決算となりました。

また、土地取得事業は亀山公
園の用地を購入したものです。

市 有 財 産 現 在 高

項 目	数 量
土 地	1,473,972㎡
土 建	208,830㎡
山 林	6,459ha
立 木	415,006㎡
物 品	203台
有 価 証 券	5,175,000円
出 資 による 権 利	64,201,000円
債 権	1,691,629,168円
基 金	1,254,727,386円
現 金	7,035㎡
土 地	

昭和56年度前期

小児マヒ生ワクチンの服用



小児マヒ生ワクチンの巡回投与を行います。

対象者 (新規) 昭和55年7月21日から56年1月20日までの出生者 (2回目) 昭和55年1

月21日から55年7月20日までの出生者 (その他) 4歳までの投与もれの幼児
料金 無料
服用できない幼児
有熱患者、下痢患者、病後衰弱者、麻疹ワクチン接種後1か月の幼児

Table with columns: 会場名, 時間. Lists vaccination sites and times for various dates from 4/22 to 4/30.

<乳児のおられる人>

乳児医療費の助成

乳児には、出産の日から満一歳の誕生日の属する月の末日まで、条件によって医療費の助成があります。市内に居住し、乳児のおられる世帯の所得税額が42,200円(従来は28,800円)以下の乳児が該当になります。
なお、55年4月1日から、56年3月31日の間に出生の乳児についても対象になります。
該当乳児の保護者の人は、保険証と印鑑を持参のうえ、市保険年金課または、各出張所で申請手続きをして下さい。



4月1日から

農地の小作料

標準額が改定されました

昭和五十三年四月に改訂された市の標準小作料は、三か年経過し経済事情の変化等により、四月一日から別表のとおり改訂されました。

これは、各小作地の小作料決定の目安となるものですから、四月一日以降の小作料についてはこの表を参考にして、貸し手、借り手の双方で各小作地ごとに、自然的条件や利用上の条件などを考えて、話し合って決定してください。
新しい小作料が決まりましたら、本年の田植え前までに市農業委員会事務局へ同事務局又は出張所備え付けの用紙で届けください。ただし、昨年十一月

標準小作料 (10アール当り)

Table showing standard rental rates for agricultural land (10 are) categorized by grade (1-4) and crop type (rice, wheat).

- (注) 1. この表の額は、適正な小作料を算定するための目安として定められたものである。... 2. 物納小作料については、金納小作料を重換量換算したものと同等の承認を受けることとする。

以降、既に届け出済みの方はいりません。
なお、四月一日からは、物納小作料等が認められましたが、

これは「耕作者の経営に支障を生じない範囲内で、農業委員会の承認を受けた場合」となっており、前年度より、事前に承認申請をしてくださいます。
また、法定小作料は昨年九月末日で失効となっております。詳しくは、市農業委員会事務局(亀山町二一〇二二四一)へおたずねください。

4月1日から 軽自動車税が かわります

これまで、四輪の軽自動車や小型自動車などの軽自動車税は年度の途中で所有者が変更の場合(市内で譲渡された場合は除きます)には月割課税あるいは、税の還付をしていましたが、四月一日からは月割課税・還付がなくなりましした。

国民年金

保険料を忘れずに

国民年金保険料の昭和五十五年度分(五十五年四月から五十六年三月まで)を納めておられない人は、四月三十日までに市の指定金融機関に納めてください。

保険料を納めていないと、万一の事故や病気、けが等の不幸な事態の時にもらえる「障害、

入所生募集

障害者 福祉センター

入所期間 一年(必要に応じ延長)

訓練科目 機能回復訓練(リハビリ)印章・印刷、タイプ、洋服、洋裁、和裁、編物、自動車操作(入所期間二か月)
資格 介護を必要としない肢体不自由者で、身障手帳の交付を受け、義務教育を修了している人
募集期間 随時
申し込み 市福祉課(亀山町二一〇二二四一)へ。詳細も同課へ



「私たちのまち山口」 歴史のあゆみと市民文化

市では、毎週日曜日午前十一時五十分から五分間、TBSテレビで「私たちのまち山口」を放映しています。
四月二十六日と五月十日は「歴史のあゆみと市民文化」をキャッチフレーズに、山口の歴史を実証する古代からの
資料を展示している歴史民俗資料館と開館十周年を迎えた市民会館を紹介します。
五月三日は名田島の岩屋山、霊光院五重塔などをたずねます。
番組の終りには「市からのお知らせ」も放映します。

秋吉台で 親と子のわらび狩り

秋吉台少年の家では、新緑の秋吉台とその周辺で、親子でわらび狩り、野外炊事、歌やゲームを楽しむ会を開きます。

- ・期日 5月5日(火) 子供の日(雨天決行)
- ・対象 原則として小学生3年以上中学生までの子供とその保護者
- ・募集人員 100人
- ・会費 大人 600円 小人 550円
- ・日程 午前9時から午後3時すぎまで
- ・申し込み 5月1日までに、秋吉台少年自然の家(〒754-03 美祢郡美東町大字赤字長谷平 ☎08396-0581)へ

■市明るい社会づくり講演会

- ・日時 4月27日(月) 午前9時から
- ・会場 市民会館小ホール
- ・演題 「親と子の心にひびく家庭教育」
- ・講師 東京家庭教育研究所高橋和子氏
- ・主催 市明るい社会づくり協議会
- ・後援 市教育委員会・市社会福祉協議会

■県立博物館企画展

- ・期日 4月17日(金)～5月17日(日)
(月曜日・4月29日休館、5月4日閉館)
- ・開館時間 午前9時～午後4時30分
- ・テーマ 科学者レオナルド・ダ・ビンチ
- ・主催 県教育委員会・国立科学博物館
- ・入場料 小・中学生 100円、高校・大学生 150円、大人 250円

県立山口図書館・文書館

資料点検のため閉館

4月18日(土)から27日(月)まで、春季資料点検のため県立山口図書館・文書館および視聴覚センター(音楽資料室、視聴覚資料室)は閉館となります。

■山口の環境を考える会

- ・期日 4月26日(日) <雨天・4月29日>
- ・集合場所・時間 県庁正門前・午前9時
- ・見学地 「21世紀の森」予定地
- ・助言者 (歴史) 樹下明紀氏 (野鳥) 三宅貞敏氏 (蝶) 佐竹新氏 (植物) 塩見隆行氏
- ・対象 会員 (一般市民の参加も歓迎)
- ・服装・携行品 ハイキングのできる服装で弁当・水筒を持参
- ・問い合わせ 同会世話人の林さん宅(☎24-0212)へ

訂正 『社協だより』4月1日号(会報第99号)の愛の花東欄中「末永汎本様(白石)5万円」は「50万円」の誤りです。深くお詫びして訂正します。 <市社会福祉協議会>

市役所や公社・公団などが行っている仕事について苦情や要望・意見などに応じる制度として行政相談員制度があります。相談された事項は、行政相談員が直接該当する役所と折衝したり、行政監察局を通じて交渉したりし、相談を受けた人については、一切、秘扱いにされます。行政に対して苦情や要望・意見

日本児童手当協会では、次代をになう子供たちを心身ともに健やかに育てるため、事業所内に保育施設を整備する場合、国に代わって、その資金を助成します。

助成対象者 児童手当法による拠出金を納付している事業主

助成対象施設 事業所内保育施設の新築・増築・改築・模様替え、遊具等の購入

助成額 (建物整備費) 最高千二百万円、(遊具等購入費) 最高三十五万円

詳しくは、県児童家庭課母子福祉係(☎22-3111)へお問い合わせください。

■市民健康相談

4月23日(木)午後1時～3時30分、市役所内市民ホールで、無料。主催は山口青年会議所

お知らせ



メーン、ドー。豆剣士の熱の入った声がひびきわたります

贈り、五月二十二日(金)から二十九日(金)までの間、同センターで行う読書感想画展示会に展示します。

■少年剣道祭

- ・日時 五月五日午前八時三十分から
- ・競技 個人戦(小学三・四・五・六年および中学一・二・三年生の七部門)、基本動作、紅白戦、団体戦
- ・申し込み期限 四月二十日(月)まで

■文化クラブ作品展

- ・期間 五月八日(金)～十五日(金)
- ・内容 昨年度の文化クラブ員の作品(絵画・書道・版画)
- ・各行事の問い合わせや申し込みは市児童文化センター(湯田温泉五丁目 ☎22-4285)へ

■県護国神社大慰霊祭

市営バス 臨時便を運行

四月二十九日に開催される春

季県護国神社大慰霊祭に、市営バスの臨時便を湯田温泉へ祭場まで運行します。

なお、雨天の場合は中止。

■運行時刻

- ▽湯田温泉発午前九時(以後、午前十一時十分発まで、十五分～二十分おきに運行)
- ▽祭場発午前九時二十七分(以後、午後一時三十分発まで、十五分～二十分おきに運行)

見のある人は、次の行政相談員にご相談ください。相談は電話でも結構です。

杉山義正氏(吉敷上東、☎22-3335)

福永義人氏(秋穂二島惣在所、☎083984-1332)

■事業所内保育施設には助成金があります

市児童文化センターでは、春の行事として読書感想画展や少年剣道祭を行います。

読書感想画展は、五月一日から十四日までの「子どもの読書週間」を、少年剣道祭は五月五日の「子どもの日」を記念して行うものです。

■読書感想画の募集

- ・募集期間 五月一日～十四日
- ・募集対象者 小・中学生
- ・内容 画用紙(四ツ切)に本を読んで感じたことを絵にかき、裏に絵の簡単な説明文を添える。
- ・入選作品 入選作品には賞を

児童文化センター(春の行事)

5月5日 少年剣道祭

健康のための講演会

- ・日時 4月26日(日) 午前10時から
- ・場所 県商工会館
- ・主催 県有機農業研究会
- ・演題 食物と私達の健康
- ・講師 枚方食品公害と健康を考える会小林美智子氏(受講料は無料)

■新入社員教育講座

- ・日時 4月28日(火) 午前9時から
- ・場所 県商工会館6階 会議室
- ・主催 山口商工会議所
- ・内容・定員 新入社員の心構えや自己啓発など・40人
- ・申し込み期限 4月21日(火)
- ・申し込み先 参加料 2,000円(テキスト代・昼食代を含む)を添え、山口商工会議所(☎25-2300)へ

電気工事士試験

- ・受験願書受付 5月12日～30日
- ・筆記試験日・会場 7月19日(日)・県立美祢工業高校ほか4会場
- ・技能試験日・会場 8月23日(日)・徳山大学または下関市立大学
- ・受験手数料 4,000円
- ・受験願書の請求先 県工業課(〒753 滝町1の1 ☎22-3111)へ
- ・郵送の場合、最低120円の切手と角3以上の返送用封筒を同封し、封書の表に「電気願書請求」と朱書してください。

■「宮野八百年史」を発刊

宮野地区の郷土史「宮野八百年史」が、4月10日宮野八百年史刊行会(宮野公民館内)から発刊されました。執筆者は、県文書館の田村哲夫氏と宮野地区在住の地質学者高橋英太郎氏で、宮野地域の地勢や統治の沿革などが6項目からなっています。規格はA5判、488頁、頒価4千円。購入希望者は宮野公民館(☎28-0250)へ

火災情報

種別	建物	林野	車両	その他	計
3月中の発生件数	2	3	—	2	7
3月中の発生件数	8	3	—	3	14
3月中の発生原因	取灰の不始末 石油ストーブ取扱不注意 たき火の不始末 ブレーキの火花 ガソリンコンロの取扱不注意 ゴミ焼きの不注意				